

第4章

地域保健医療福祉 における人材育成

第4章 地域保健医療福祉における人材育成

現 状

- 保健・医療・福祉に関わる専門職は、医療の高度専門化や多様化する地域の課題、保健医療に関する法改正等に対応し、質の向上に努めることが求められています。
また、次世代を担う人材育成として、医学生、保健師、栄養士、歯科衛生士等の学生実習の受け入れなども重要です。

- 近年の研修では、住民の保健・医療・福祉の安全・安心を支えるための機関連携や多職種連携を目的に、様々な職種が参加する合同研修会の形が増えています。
また、新型コロナウイルス感染症への対応を経て、オンラインと集合型それぞれの特性を生かしたハイブリッド型の研修を実施するなど、スキルアップの形態も多様化しています。

1 職能団体等の人材育成

- 地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、理学療法士協会等の職能団体や西多摩地域広域行政圏協議会では、様々な研修や講演会等を実施しており、例えば西多摩医師会では、多職種による検討会や研修会を開催しています。
- 市町村では、主に福祉分野での研修会等により、保健・福祉関係者の育成に取り組むとともに、看護師・保健師・栄養士等の学生実習の受け入れを実施しています。また、地域包括支援センターでは、介護支援専門員の研修等によりスキルアップを図っています。
- 地域拠点型認知症疾患センターや地域リハビリテーション支援センターに指定された病院においても、適時、研修会を開催して人材育成を図っています。

2 保健所の人材育成

- (1) 保健所では、保健・医療・福祉に関わる人材を育成するため、専門職の人材育成において次のような取り組みを行っています。
- 医師及び看護職
医師及び看護職に対しては、医療安全や健康危機管理等に関する研修を実施しています。
- 歯科医師及び歯科衛生士
摂食嚥下機能支援などの知識・技術に関する研修等を、歯科医師及び歯科衛生士を中心に多職種の連携型で実施しています。

- 薬剤師
かかりつけ薬剤師や在宅医療の推進等、薬剤師の資質向上を目指し、地域の薬局を対象とした研修会等を実施しています。
- 保健師
都が実施する研修に加えて、市町村保健師のスキルアップを目的として、新任期・中堅期・管理期の対象者別の研修を実施しています。
- 管理栄養士・栄養士
健康づくりを推進する上で重要な役割を担う、管理栄養士・栄養士を対象に栄養や食生活、摂食嚥下機能、災害対応等に関する専門知識や技術の提供を目的とした講習会等を実施しています。
- 学生実習
後進育成を目指し、医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士学生を受け入れ、実習を行っています。

課題

- 保健・医療・福祉の専門職が少なく、専門職向けの人材育成の仕組みを構築することに難しさを感じている市町村もあります。
- そのため、市町村や職能団体等で取り組んでいる人材育成事業など、多種多様な研修の機会を通じ、圏域内・多職種で連携を取りながら、圏域全体でもスキルアップを図る必要があります。

今後の取組

- 市町村、西多摩医師会等職能団体、医療機関、福祉施設等は、引き続き圏域における専門職や住民向けに、研修会や講演会を開催し、人材育成を図ります。
- 保健所は、保健・医療・福祉に関わる各専門職や、福祉分野等の関係機関や事業者を対象として、専門知識の提供をはじめ、地域のニーズや新たな課題に対応するための研修等を幅広く実施します。また、市町村と協力して、地域の課題に沿った保健医療福祉人材育成のための研修、交流等の取組を進め圏域内の顔の見える連携を図ります。

【重点プラン】 地域の保健・医療・福祉人材の育成
【指 標】 市町村等職員支援研修の充実

保健師人材育成（保健所）

市町村と共働した西多摩圏域における人材育成の体制づくり ～自ら学び、互いに育ち合う保健師活動を目指して～

西多摩保健所では、令和5年度から自治体保健師の人材育成をテーマに課題別地域保健医療推進プランに取り組んでいます。

保健師は公衆衛生の専門職として、地域住民の健康の保持増進を目指し、地域の健康課題を解決するために各種保健事業に取り組んでいます。西多摩圏域は人材確保・定着に苦慮している経過があり、人材育成が重要です。そこで、当プランでは当圏域の人材育成のあり方の検討、保健師活動における課題解決能力の向上を目指して取組を開始しました。

まず、自治体保健師の活動状況把握を目的にアンケート調査を実施したところ、当圏域の保健師は、非常に多くの業務を担う中で着実に経験を積み重ねることに不安を抱いている一方、地域住民との関わりを通じて大きなやりがいを感じていることがわかりました。

また、保健師のスキルアップを目指す実践型の研修では、保健事業の企画・運営や対人支援業務において、情報を整理しながらPDCAサイクルに基づいて活動を展開する力を高めるとともに、圏域の保健師同士で交流し、業務を進める上での悩みごとや気持ちを共有することで切磋琢磨しました（写真1、2）。さらに、圏域各自治体の管理期（係長級以上）保健師が集まる連絡会では、調査や研修を通じて把握した人材育成の課題について意見交換を行い、圏域で保健師が協働して育ちあう体制のモデルを共有しました。

引き続き、当圏域の住民の皆様がその人らしく健康に暮らすことができるまちづくりを目指して、圏域保健師全員がお互いに育ちあうことができる圏域の人材育成の仕組みづくりに取り組んでまいります。



写真1：西多摩保健所で実施した研修の様子



写真2：研修で実施したグループワークの成果